

H28.12.11 宮城県消防協会大崎地区支部講演会

鳴瀬川等大規模氾濫時の
逃がす・防ぐ・取り戻す
減災対策協議会

- 平成28年12月11日、パレットおおさき多目的ホールで行われた、宮城県消防協会大崎地区支部講演会において、「近年頻発する豪雨災害への備えと国土交通省の取組」と題し講演を行い、消防団員をはじめ約300名の方々が参加しました。
- 水防災に関する啓発動画「守りきれない洪水は必ず発生する！」も交えて、鳴瀬川水系の概要・水害の歴史、減災対策協議会の取組内容および鳴瀬川水系河川整備計画の変更内容等の説明を行い、豪雨災害への備えと国土交通省の取組について理解を深めていただきました。
- 参加者からは、「S61年洪水を経験した人が少ない。鳴瀬川・吉田川の治水の歴史などを学び、大変良い機会となった」「災害時のTEC-FORCE・リエゾンの迅速な行動や、様々な災害対策車両がある事など、大変勉強になった」などの感想をいただきました。



大崎地区消防団員など（約300名）が参加

講演会の内容

■「守りきれない洪水は必ず発生する！」動画上映

■主な講演内容

1. 鳴瀬川等について
 - ・流域の特徴
 - ・鳴瀬川等の歴史
 - ・治水事業の経緯
2. 吉田川の洪水と対応
 - ・昭和61年8月洪水など
3. 洪水予報と災害への備え
4. 河川整備計画の変更
 - ・減災対策協議会の取り組み
5. 簡易アラートの運用

